

平成31年 第1回(平成31年1月9日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

○議 案 ・ 大矢知興譲小学校改築整備事業について（中間報告）

議事概要

○協 議

・ 大矢知興譲小学校改築整備事業について（中間報告）

<事務局からの説明>

大矢知興譲小学校改築整備事業について、平成30年11月定例月議会において、大矢知地区から全面改築（C案）ではなく増築と大規模改修で対応する旨の請願が提出され、採択されました。これらの経緯を報告するとともに、全面改築案の改善案（C´案）及び地区からの提案を踏まえた増築案を説明し、協議を行いました。

今後は、これまでの経緯や教育委員会の意見を踏まえ、事業の実現可能性や課題の優先度等を総合的に勘案し、市長の判断により最終的な施設改善の手法を決定していきます。

<委員からの主な意見>

- ・ 増築での対応を求める旨の請願が提出され、それが議会で採択されたが、増築案では校舎の使い勝手の悪さなど、課題が残ってしまう。100年先を見越し、児童や先生方の安全の問題や、負担感を解決するためにも、C´案で検討を進めるべきである。
- ・ 増築案では、いくつかの課題が残ったままになってしまう。残された課題を解決するための改修が必要になり、そのための費用が必要となってくる。いくつかの課題を解決し、将来への責任を果たすためにも、C´案で進めるべきと考える。
- ・ 工事期間中に在籍する子どもたちやその保護者は、C´案に対して不安な思いがあるだろう。しかし、どんな学校を整備することが最善なのかという視点で考えると、将来的に必要となる経費や、子どもたちへの負担を考慮すると、C´案が適していると考えられる。
- ・ 地域、保護者は5階建てに不安を示しており、増築案を要望している。地域の要望に沿った案も提案したうえで、教育委員会としてはC´案を進め、5階建てに対する不安感を解消できるように説明を行ってほしい。